

平成19年5月8日

各 位

会社名 明星電気株式会社
 代表者名 代表取締役会長 落合裕太郎
 (コード番号 6709 東証第2部)
 問合せ先 常務取締役 小谷雅博
 (TEL 03-3814-5115)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成19年1月24日の第3四半期財務・業績の概況(連結)および平成18年11月10日の個別中間財務諸表の概要発表時に公表いたしました平成19年3月期(平成18年4月1日~平成19年3月31日)の通期業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1)連結通期業績予想数値の修正(平成18年4月1日~平成19年3月31日) (単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想発表(A)	8,600	250	230
今回予想発表(B)	7,784	45	22
増減額(B-A)	816	205	208
増減率(%)	9.5	82.0	90.4
(ご参考)			
前期実績(平成18年3月期)	8,936	382	1,884

(2)個別通期業績予想数値の修正(平成18年4月1日~平成19年3月31日) (単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想発表(A)	9,300	250	230
今回予想発表(B)	7,781	52	29
増減額(B-A)	1,519	198	201
増減率(%)	16.3	79.2	87.4
(ご参考)			
前期実績(平成18年3月期)	8,871	418	1,899

2. 修正の理由

当社は元々売上が期末に集中する構造のため、2月・3月の売上の結果が損益に大きな影響を与えます。特に今期につきましては、3月の売上計画4,715百万円が当初年間売上計画9,300百万円に対して50.7%と高い比重となっていました。この内、当社の中核事業である気象防災・環境計測事業については、計画こそ達成できませんでしたが対前年実績比で10.2%増と底堅い実績をあげることができた一方、制御システム事業等につきましては、引き続いて官公庁の公共投資抑制の影響から、平成19年度以降へ繰り延べられる案件が予想以上に発生し、売上高は前回発表予想を下回る結果となりました。また、利益面では平成17年度に実施したリストラや、今年度下期より本格的に実施した原価低減活動の効果などが相まって利益の下支えをしましたが、816百万円の売上減少(連結ベース)影響は吸収できず、経常利益、当期純利益共下方修正する結果となりました。

前回予想と比較し、売上高は連結ベースで816百万円(個別ベースで1,519百万円)減少し、経常利益は205百万円(個別ベースで198百万円)の減少、当期純利益は208百万円(個別ベースで201百万円)減少する見通しです。

尚、当社は連結業績と個別業績はほとんど変わりません。また、連結と個別の売上高の前回予想値が異なるのは、第3四半期財務業績の概況の発表(平成19年1月24日)では連結のみの発表であり、個別の売上高の前回予想値は平成18年11月10日の個別中間財務諸表の概要発表時の数値であります。

(注)上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しておりますが、多分に不確実な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上